

赤ちゃんから高齢者まで やさしさとかかりやすさをめざして

公益社団法人  
北海道勤労者医療協会  
勤医協札幌病院

# 広報誌

2019.1

21



産婦人科・小児科・麻酔科

産婦人科  
医長 西岡 利泰

小児科医 小林 秀樹

手術部長  
麻酔科科長 林 泉

助産師 石井 智子

産婦人科  
副科長 渡邊 喜久雄

助産師 大高 主江

助産師 嵯峨 千紘

助産師主任 小貫 奈津美

小児科医 川真田 伸子

4病棟助産師  
師長 五十川 聡子

助産師 佐藤 晴香

副院長  
産婦人科科長 長島 香

助産師 中村 みどり

助産師 石橋 美香

## 安全・安心なお産を支える 私たちの仕事

産婦人科・小児科・麻酔科が連携するチーム医療

経済的困難がある場合は入院助産制度が利用できます

安全・安心な

# お産を支える 私たちの仕事

産婦人科・小児科・麻酔科が連携するチーム医療

十分な観察と  
リスク対応で支える自然分娩

妊婦健診の後に助産師が食事や体重の  
管理などについて保健指導を行います。

勤医協札幌病院では産婦人科医、小児科医、麻酔科医、助産師、看護師、ソーシャルワーカーなどが連携し、「自然分娩」「母乳育児」を中心とした安全・安心なお産を提供しています

# 勤医協札幌病院が目指すお産

新しい命の誕生を  
助産師がサポートします



赤ちゃんの誕生を実感したくて  
自然分娩を選択しました！

陣痛が始まったので病院に電話を入れ、朝9時に入院。分娩室で夫と会話しながら過ごし、陣痛が強くなってからは、助産師さんがずっとそばで「痛いよね」「そう、そう、上手！上手！」と励ましてくれたので、無事に元気な男の赤ちゃんを授かることができました。4時間前までお腹の中にいた赤ちゃんが、自分の腕の中にいる幸せを感じています。これからの子育てを頑張ります！



赤ちゃんを  
病気から守る  
母乳育児を推進  
しています



赤ちゃんにもお母さんにも  
やさしい自然分娩  
を目指します



お産による  
骨盤のダメージを  
抑えるケアを提供  
しています



経済的に  
困難な場合は  
入院助産制度が  
利用できます



出産費用は  
およそ42万円  
個室料金は  
かかりません



他科との  
連携があります

- 必要に応じて内科と連携し、お母さんの健康管理を行います
- 麻酔科医の協力を得て緊急の帝王切開手術に対応します
- 小児科と連携し、赤ちゃんの健康を管理します
- 医療通訳や手話通訳を利用できます

## 2017年 産科医療実績

分娩件数 **360件**

うち帝王切開数 84件



## 助産師 19人

(2018年12月現在)



4病棟助産師 師長  
いそがわ さとこ  
**五十川 聡子**

母体の健康状態や生活環境・社会背景にあるリスクを早めに把握・支援するケアによって、家族が新たな命の誕生を心から喜べるよう関わります。産前・出産・産後の各段階に寄り添いながら、安全で安心なお産ができるようにサポートしています。

産婦人科には19人の助産師がおり、外来と病棟の両方をローテーションで勤務しているため、母体と胎児の状態や変化などの情報は常に更新・共有し、母体の変化に応じた迅速な対応を可能にしています。

妊娠は病気ではないため、正常に経過する場合は、自然に陣痛が来るのを待つて助産師が出産を介助する「自然分娩」を目指します。妊娠9カ月に入ったら、妊婦さんとご家族が希望するお産ができるようバースプランを一緒に考えます。妊娠が進む中で心配な兆候を認めたり、万一の緊急事態や予想外のトラブルが発生した場合は、産婦人科医・麻酔科医・小児科医が速やかに対応します。

# 元気な赤ちゃんが無事に生まれるよう チームで関わります

## 妊婦健康体操



エアロビクスインストラクターが講師を務めています

## 母親教室／安産教室



産婦人科医と小児科医、助産師が講師を務めています

## 通訳（予約制）



毎週木曜には、英語に対応できる通訳がいます

## 妊婦健診



産婦人科 医長  
にしおか としやす  
**西岡 利泰**

妊婦健診は、妊娠週数によって受ける頻度や内容が異なり、母体や胎児の健康状態によって検査内容も変わります。定期的・継続的に受けることでリスクの発見や適切な対処ができます。妊婦健康体操や母親教室での学びも、出産準備の一環です。

## 産婦人科医



副院長  
産婦人科 科長 **ながしま かがり**  
**長島 香**

1987年 徳島大学医学部卒  
【資格】

- 日本産科婦人科学会専門医
- 母体保護法指定医
- 新生児蘇生法「専門」コースインストラクター

### 妊婦と胎児の状態を 持続モニタリング

「赤ちゃんは無事に生まれてくるのが当たり前」と思われがちですが、正常に見える妊娠でも危険と隣り合わせのことがあります。そのリスクに適切に対処し、安全なお産へと導くのが、産婦人科医の役目です。

早い段階でリスクを把握するため、初診時に病歴や生活背景などを確認する問診票に記入いただいています。妊婦健診では、尿検査や血液検査、超音波検査、内診を行い、母体の状態、胎児の発育を確認します。

母体に合併症があったり、社会的・経済的な困難を抱えている場合は医師と助産師が、今後のリスク管理について話し合い、方向性を確認します。必要に応じて、内科や心療内科の専門医に治療を依頼したり、ソーシャルワーカーや区の保健師と共に「入院助産制度」の対象になるかどうかの検討も行います。

高いリスクが把握された場合には、母体・胎児集中治療室（MFCU）や新生児集中治療室（NICU）がある医療施設で必要な医療を受けることができるよう支援し、「安全で安心なお産」を提供しています。

## 家族と一緒にリラックスして迎える出産を大切にしています



陣痛が始まった妊婦さんは来院し、産婦人科医の診察を受けてから分娩室（LDR室）に入ります。分娩室は陣痛から産後5時間までを過ごす個室です。分娩の準備が整えられているので、移動する必要がなく、新しい命の誕生を家族と一緒に迎えることができます。

お産が進み始めたら、助産師がそばで楽な姿勢や呼吸の仕方をアドバイスし、安全なお産をサポートします。

### 3つの分娩室（LDR室）

LDRは陣痛（Labor）・分娩（Delivery）・回復（Recovery）の意味です

リビングルームのように家族もくつろいで過ごせる空間です



赤ちゃんの誕生が近づくと医療機具を用意します



助産師と産婦人科医、小児科医が参加する病棟カンファレンス

### 産後5時間後に母子同室の個室へ

産後5時間を分娩室で過ごした後は、同じ階にある母子同室の病室に移ります。4人部屋をリフォームした広い個室で、家族もくつろげるようにソファを置いています。助産師が病室を訪問し、お母さん一人一人に合わせた育児支援を行っています。



### 予期せぬ急変にも迅速に対応

妊娠中や分娩中に母体や胎児に予期せぬ緊急事態が発生した場合は、できるだけ早く帝王切開で分娩させる必要がありますが、当院には緊急帝王切開術を迅速に行える医療体制が整えられています。手術室には必要な器具および酸素が常備され、その使用方法を、医師や看護師、助産師が熟知しています。



母子の命を守る医療体制があります

### 帝王切開でも立ち会い可能です

骨盤位（さかご）や前回の帝王切開の方は、帝王切開でのお産になります。分娩の約20%が帝王切開です。

当院では「出産時の感動や幸せを共有し、精神的に励ますことができる」として、自然分娩だけでなく、帝王切開でも立ち会うことが可能です。ご希望の方は、主治医に相談ください。

※状況により退室を依頼することがあります

## 新生児健診

# 誕生と同時に 赤ちゃんの健康を サポートします

小児科 医師  
こばやし ひでき  
小林 秀樹

新生児健診は、当院の小児科医が担当しています。誕生直後の新生児の全身状態を診察して健康状態を評価し、異常があった場合は適切に対処し、赤ちゃんの健康を守ります。

## 小児科医

### 誕生直後からの 新生児ケアは重要です

誕生したばかりの命を守り、その成長を支えるのが小児科医の役目です。

緊急度の高い分娩になりそうだと産婦人科医が判断した場合は、小児科医にも連絡が入ります。すぐに手術室に駆けつけ、新生児蘇生が必要な場合は迅速に対応します。

正常な出産の場合は、誕生直後の新生児の身体チェックを助産師が行いますが、何か気かりなことがあればすぐに小児科医に連絡が入ります。

誕生直後に異常がなくても、誕生後24時間以内には小児科医が新生児健診を行います。新生児の呼吸や心拍、反射が正常か、奇形はないかに加え、意識や意欲の状態を観察します。新生児健診は非常に重要で、異常の早期診断・早期治療に役立ちます。

1カ月健診では、赤ちゃんの体重は増えているか、体のバランス、四肢の動き、神経、聴力、視力などが発育しているかを診ています。



小児科  
かわまた のぶこ  
川真田 伸子

2005年 秋田大学医学部卒  
【資格】

●日本小児科学会専門医

# お産をがんばった ママへのご褒美に

## お祝い膳



出産2日目にはお祝い膳が用意されています。  
※洋食か和食を選べます

## リフレクソロジー & アロマセラピー



専門のセラピストによるリフレクソロジー（反射療法）の施術を病棟内で受けることができます。足の裏の反射区と呼ばれる特定部位を押すと、疲れの回復、むくみや便秘の解消、免疫力の強化などにつながるとされています。

ライトダウンされたお部屋には小鳥のさえずりや小川のせせらぎなどのBGMが流れ、リラックスできるアロマが香ります。30分の施術後はハーブティーで体を温めます。「産後の疲れやむくみがとれた」「授乳疲れの気分転換になった」「2度目のお産で、また受けられると楽しみにしていた」と喜ばれています。



ハーブティー

## 助産師



赤ちゃんの体重を量り、成長具合も確認します



私たち勤医協札幌病院の願いは、誰もが安心して暮らせる地域社会をつくることです。切れ目のない支援の先に家族の笑顔があることを知っています。

## 新生児ケア



## 赤ちゃんに ABR 検査 も

入院中の赤ちゃんの診察は、小児科医が担当します。赤ちゃんの耳が聞こえているかどうかを調べるABR（聴性脳幹反応）検査を無料で行っています。

退院後から1カ月健診までの間に赤ちゃんに何か心配があった場合は、産科病棟へご連絡ください。それ以降は、小児科外来で受け付けます。

※当院で対応しきれない病気があった場合は、新生児集中治療室（NICU）がある病院へ転院となります



## 新生児の 沐浴

1日1回の沐浴は助産師が担当。初産のお母さんには、マンツーマンで丁寧に指導します。



経験豊富な  
私たち助産師が  
サポートします



## 産後訪問

産後のママに  
安心を届けます



退院してから1週間前後に入院中に関わりを持った助産師が、初産婦の自宅に伺う「産後訪問」は当院独自の取り組みです。赤ちゃんとお母さんの健康状態を診るだけでなく、初めての子育てに戸惑っていないか、家族の子育て援助はあるかなどを把握し、質問に答えたり、不安や問題の解決と一緒に考えたり、必要としている支援を実現できるように対応します。家族や生活環境に問題がある場合、地域の関係機関と連携し、継続支援へとつなげます。

ママになるけど 不安…

# 経済的困難がある場合は 入院助産制度が 利用できます

勤医協札幌病院は、出産費用の公的助成が利用できる「入院助産制度」の指定を札幌市から受けており、経済的困難を抱えていても、安心してお産に臨むことができます。

## ▶ 入院助産制度とは

経済的な理由で、病院への出産費用が払えない人のための救済制度です。自治体が指定した助産施設（病院）で出産する場合、無料または小額の負担金で利用できます。

## ▶ 制度の対象者



## ▶ 申請の方法

給付を受けるには条件があります。病院職員に相談ください。

妊娠が分かった時点で  
ご相談ください

## 必要なもの

- 母子健康手帳
- 住民税の課税（非課税）証明書
- 前年度分の源泉徴収票（自営業の人は確定申告書の写し）
- 健康保険証
- 世帯全員の住民票

※外国人の場合は外国人登録証、学生の場合は在学証明書もご持参ください

## 勤医協札幌病院

〒003-8510 札幌市白石区菊水4条1丁目9-22

☎011-811-2246 FAX 011-820-1245

E-mail satu-soumu@kin-ikyjo.jp

病床数 105床

【診療科目】 内科、外科、整形外科、産婦人科、小児科、耳鼻咽喉科、眼科、労働衛生科、神経科・心療内科、麻酔科（林 泉）

【専門外来】 総合外来、消化器外科、循環器外来、呼吸器外来、腎臓外来、糖尿病・甲状腺外来、リウマチ・膠原病外来、高齢者外来、禁煙外来、ロービジョン外来、アスベスト外来

【健康診断】 特定健康診断、後期高齢者健康診断、各種がん検診、企業健康診断、人間ドック

ホームページ

<http://www.satsubyo.com>



※スマートフォン  
タブレットでも  
ご覧いただけます



【駐車場】 病院正面（「ひまわり薬局駐車場」も利用可能です）

地下鉄東西線「菊水駅」1番出口から徒歩3分

- エレベータをご利用の方…3番出口から徒歩5分
- エスカレータをご利用の方…2番出口から徒歩4分（マックスバリュ店内のエスカレータ）

🚌 勤医協中央病院との無料バスを運行しています

## 基本理念

1. 赤ちゃんから高齢者まで、やさしい病院をめざします。
2. 安全・安心・納得の医療を実践します。
3. 憲法を守り、安心して暮らせるまちづくりに貢献します。

## 基本方針

- 地域に根ざし、保健予防から在宅医療まで、無差別・平等の医療を実践します。
- 地域の中で、医療機関や事業所・施設との連携を強め、患者さんに信頼される良質で安全、安心できる医療を提供します。
- お互いに学び、成長し合える職場、病院づくりに努力します。
- 患者さんの立場に立ち、民主的な集団医療を実践できる医療人の養成をめざします。
- 安心して暮らせる地域をめざし、憲法と平和、環境を守る取り組みをすすめます。